

<p>助成事業細目</p>	<p>スポーツ活動推進事業</p>
<p>事業名</p>	<p>ジュニア並びにアフタージュニアの体力特性に関する調査事業</p>
<p>実施した事業の内容 (種目・期間・場所・対象者・実施方法等)</p>	<p>〔実施事業の内容〕                  本事業は以下のトレセンを行っているブロック(都道府県)において、体力(コンディショニング)チェック等を行った。                  愛媛県トレセン                  1月10日、11日 愛媛県総合運動公園内のテニスコートおよび会議室で行った。                  島根県トレセン                  1月18日、19日島根県矢田体育館を利用して測定および調査を行った。                  関西トレセン                  朝テニスセンターテニスコートおよび会議室内にて、ジュニア選手を対象に測定および調査を行った。 沖縄県トレセン                  2月16日、17日 奥の山公園テニスコートおよび体育館にて、ジュニアテニス選手を対象にコンディショニングチェックを中心に行った。                  関東地域アフタージュニア測定                  2月14日、15日 亜細亜大学テニスコートおよび会議室内において、アフタージュニア(大学生)を中心に体力チェックを中心に行った。</p> <hr/> <p>事業の第三者への委任(委託等)の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>実施した事業の成果</p>	<p>調査によって得られたデータを分析することによって以下の点に関しての知見が得られた                  体力的要素については、他競技の球技種目と比べて、筋力やスピード、全身持久力などについては、少し低い傾向をしめした。ただ、敏捷性などの項目については、テニスの特性もあり、高い傾向を示した。今回は、体力については、ジュニア選手の年齢別に適正な項目を決定することも目的の一つであり、その意味では、多くのデータ収集が行えたことは、大変意義のあるものであった。                  アライメントや柔軟性のチェックについては、ジュニア選手は、非常に固い傾向にあり、ウォーミングアップやクーリングダウン、そして柔軟性のトレーニングの少なさなどが見受けられた。従って、この測定項目もジュニア時代から徹底していくことに意味があり、今後は、指導者(コーチ)に徹底していきたいと考えている。</p>
<p>実施した事業に対する評価</p>	<p>本事業は、トレセン事業に携わっている都道府県やアフタージュニアなどを対象として、ジュニアテニス選手のデータを蓄積すると共に、ある程度の測定項目の統一化を測ることを目的としたものであった。データは収集できたので、このデータを基に、体力の標準化などを目的として今後は、全国的に情報を伝達していきたいと考えている。その意味では非常に、有意義な調査であった。今後は、他の地域への啓蒙活動も含めて、取り組んでいきたいと考えている。</p>
<p>ロゴマーク等の表示方法</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> ホームページ上の表示 <input checked="" type="checkbox"/> 活動場所での掲示(看板等による)  <input checked="" type="checkbox"/> 印刷物への表示 <input checked="" type="checkbox"/> 取得物品への表示  <input type="checkbox"/> その他( )</p>
<p>事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の用途に関する情報の公開方法</p>	<p>本事業は参加した選手の所属先となる各倶楽部の指導者、および各都道府県テニス協会、各地域テニス協会に対して毎回の報告書を提出することにより周知を行っている。また代表的なデータに関しては個人が特定される事の無い形に加工を行い、日本テニス協会が主催する指導者養成講習会や研修会等に置いて講習内容の基礎となるデータとして反映された形で提供が行われている</p>
<p>備考</p>	